

第 106 回薬剤師国家試験の採点にあたって考慮した問題について

3 日目③【一般問題（薬学実践問題）】 問 320

問 320-321 薬局において、以下の「かぜ薬 4 - ②」（薬局製造販売医薬品）を販売した。その翌日、購入者から、10 歳の息子が今朝この薬を服用して 30 分後くらいから呼吸が苦しくなり意識が薄らいできたとの電話相談があった。購入者は、購入後初めてこの医薬品を使用したとのことであった。なお、この医薬品の製造後、最初に販売したのがこの購入者であり、他の購入者はいなかった。

日本薬局方	アセトアミノフェン	0.36 g
日本薬局方	エテンザミド	0.9 g
日本薬局方	クロルフェニラミンマレイン酸塩散	0.0075 g
日本薬局方	<i>dl</i> -メチルエフェドリン塩酸塩散	0.6 g
日本薬局方	ジヒドロコデインリン酸塩散 1 %	2.4 g
日本薬局方	デンプン	適量
全量		6.0 g

用法・用量

1 回量を次のとおりとし、1 日 3 回、食後服用する。

大人（15 才以上）	1 包 2.0 g
11 才以上 15 才未満	大人の 2/3
7 才以上 11 才未満	大人の 1/2
3 才以上 7 才未満	大人の 1/3
1 才以上 3 才未満	大人の 1/4

問 320（実務）

薬剤師の対応として適切でないのはどれか。1 つ選べ。

- 1 健康被害の状況を確認し、緊急の場合には受診等するように指示した。
- 2 大人の 1/2 の量で服用したか確認した。
- 3 患者とのやり取りを記録に残した。
- 4 各成分の投入量に間違いがなかったか当該ロットの製造記録の確認を行った。
- 5 当該製品の含有成分には呼吸抑制を起こす薬剤はないと判断した。

第 106 回薬剤師国家試験の採点にあたって考慮した問題について

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理 由

設問の薬局製造販売医薬品は現在用法・用量が変更されているが、変更前の用法・用量をもとにした問題・選択肢となっており適切ではないため。

設問の訂正

正	誤
用法・用量 1回量を次のとおりとし、1日3回、食後服用する。 大人（15才以上） 1包 2.0 g <u>12才以上 15才未満</u> 大人の 2/3	用法・用量 1回量を次のとおりとし、1日3回、食後服用する。 大人（15才以上） 1包 2.0 g <u>11才以上 15才未満</u> 大人の 2/3 <u>7才以上 11才未満</u> 大人の 1/2 <u>3才以上 7才未満</u> 大人の 1/3 <u>1才以上 3才未満</u> 大人の 1/4